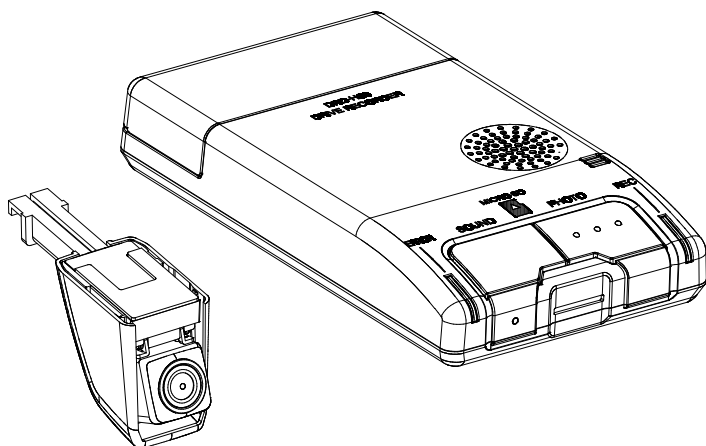


トヨタ純正

ドライブレコーダー

●トヨタ純正型番
DRD-H66

取扱書



お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容
に従って正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。



トヨタ自動車株式会社

目次

安全に正しくお使いいただくために... 3	Google Earth で使用するデータを出力して読み込む.....30
本機について〔必ずお読みください〕.....6	メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする.....31
使用上のご注意..... 7	バックアップフォルダーを設定する.....31
本機のお手入れ.....8	メモリーカードのデータをバックアップする.....31
本機の異常にお気づきのときは.....8	バックアップした映像を見る.....33
検査標章貼り付け時の注意事項.....8	データをクリーンアップ（消去）する.....34
各部の名称とはたらき..... 9	本体の設定を変更する.....36
インジケータ（LED） / ブザー / 音声による通知..... 10	お買い上げ時の本体設定状態.....36
本機の操作..... 12	設定を変更する.....37
メモリーカードを入れる / 取り出す...12	バージョン情報を表示する.....41
電源をオン / オフする.....13	DRD-H66 Viewer と取扱説明書をダウンロードする.....41
本機で録画した動画または静止画を見るには.....13	メモリーカードをフォーマットする..... 42
録画する..... 14	よくある質問..... 43
電源オン時の録画と記録.....14	仕様..... 46
常時録画（連続録画）モード.....14	ソフトウェアについて..... 47
衝撃検知モード.....15	保証について..... 50
静止画記録.....15	保証の内容.....50
電源オフ時の録画モード.....16	保証の期間、受け方.....50
常時駐車録画モード.....16	保証しない事項.....50
衝撃検知モード.....16	保証の適用.....50
常時駐車録画モードと衝撃検知モード...17	その他.....50
駐車時録画機能の設定を本機で切り替える.....18	
音声録音のオン / オフ切り替え.....18	
フォルダ / ファイル構成..... 19	
ビューアソフトを使う..... 20	
DRD-H66 Viewer をダウンロードする.....20	
DRD-H66 Viewer の動作環境.....20	
ダウンロードする.....20	
DRD-H66 Viewer を使う.....22	
ビューアソフトを起動する.....22	
画面の操作.....22	
動画 / 静止画ファイルを切り出す.....28	
動画を切り出す.....28	
静止画を切り出す.....29	

安全に正しくお使いいただくために

この取扱書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、傷害につながるおそれがあること。
注意	記載事項を守らないと、車両や装備品の故障や破損につながるおそれがあること。

警告

● 本機は DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しないでください。

● 機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

● 故障や異常な状態のままで使用しない

映像が記録できない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

● 運転者は走行中に操作したり、表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、本機やカメラに触れない

落雷による感電の原因となります。

● エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取付と配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。

● 前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けをしない

交通事故やケガの原因になります。

● 取り付けには保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

● ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は必ずお買い上げの販売店に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。

● 異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

● 分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災、感電、故障の原因となります。

● 機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

● 本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

● microSD メモリーカード挿入口に手や指を入れない

ケガの原因となります。

● microSD メモリーカードは、お子様に触れさせない

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 危険な運転はしない

本機が衝撃を検知するかを確かめるため故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

● コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意

- 本機に付属または純正の microSD メモリーカードを使用してください。付属または純正品以外では正しく動作しません。(品番：086A4-00030)
- microSD メモリーカードには、本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。撮影した映像や画像が欠けるなどの原因になります。
- 本機は、危険運転の際の状況を記録することが目的です。イタズラその他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与える、落とす、上に重いものをのせることはしないでください。火災、故障のおそれがあります。
- カメラは直射日光が当たると、高温になり、火傷をする可能性があります。
- フロントガラスのお手入れの際は、カメラの固定具およびカメラのコードを強く引っ張らないでください。カメラの固定具がはずれた場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
- クリーナーなどのスプレーや水分等を本機にかけないでください。
- 取付・配線・取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼してください。取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付配線は、ケガの原因となります。
- 作業前はバッテリーの⊖端子を外してください。⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。
- 車両部品に穴を開けて車内装着されている他部品などに干渉、接触しないように注意してください。また加工部のサビ止めや 防水、防滴、防塵の処理を行ってください。
- 必ず付属の部品を使用し、確実に固定してください。付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因になります。

本機について〔必ずお読みください〕

- 本機は常時記録型の映像を記録する装置ですが、全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。また全ての状況において映像を保存できることを保証したものではありません。

以下の場合などは、衝撃の検知による映像の記録ができないことがあります。

- ① 本機に microSD メモリーカードを挿入していない場合
- ② 本機から microSD メモリーカードを抜いた場合
- ③ 本機に付属または純正の microSD メモリーカード以外を使用した場合
- ④ 記録した古い映像が、新しい記録によって消されて（上書きされて）しまった場合
- ⑤ 事故や水没などで本機および microSD メモリーカードが損傷を受けた場合
- ⑥ 事故の場合などでバッテリーと本機間の電源コードが断線した場合、または、バッテリーが損傷を受けた場合

以下の場合などは、衝撃の検知による映像の保存ができないことがあります。

- ⑦ 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
 - ⑧ 本機の本体が固定されていなかったり、取付後の本体初期設定が行われていないなど、本機の実装状態に問題がある場合
- 映像が記録されなかった場合や記録されたファイルが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については、弊社は一切責任を負いません。
 - 本機は、事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
 - 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。これらの場合については弊社は一切責任を負いません。
 - 本機は映像を記録する装置ですが、必ずしも信号が確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
 - 本機が起動中（LED が点灯もしくは点滅中）に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSD メモリーカードの破損による映像が記録できない件について、弊社は一切責任を負いません。
 - 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSD メモリーカードの記録が一杯になると古い映像から消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のアクセサリ電源（以降 ACC）をオフにし、microSD メモリーカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いします。
 - 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いします。
 - LED 式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED 式信号機が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

- 車両のバッテリーを外すと、GPS の情報を受信した次回起動時から正しい時刻になりますので、バッテリーから外した後は、記録されている映像のファイル名や位置情報で GPS 情報が受信できたかどうかを確認してください。
- microSD メモリーカードを抜く場合は ACC をオフ後、LED が消灯していることを確認してから抜いてください。
- 本機で記録した映像を専用ソフト DRD-H66 Viewer で見るための動作環境を満たすパソコンが必要です。動作環境については 20 ページをご覧ください。
また、カードリーダーは付属しておりません。ご使用のパソコンに接続可能なカードリーダーを別途ご購入願います。

使用上のご注意

- 高温、低温でのご使用は、誤動作や故障の原因になります。夏期については車内が高温になることがありますので窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- カメラレンズの近くに反射物を置かないでください。
- 自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機はあらゆる状況においての映像の録画を保証するものではありません。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- カメラコードにキズをつけないでください。キズ部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ故障や火災、感電の原因になります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象（※）が発生したり、その光源中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。



（※）ブルーミング現象：高輝度の被写体（太陽やヘッドライトなど）がカメラに映ると、光周辺に白飽和が発生する

- 本機の日時や位置情報を定期的に確認してください。日時がずれているときや、位置情報が変わらないときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- microSD メモリーカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSD メモリーカードを挿入しない場合、本機は動作しません。
- microSD メモリーカードを本機に挿入する場合、向きに注意して挿入してください。
- microSD メモリーカードの抜き挿しは、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認して行ってください。本機が動作中に microSD メモリーカードの抜き挿しを行うと、microSD メモリーカードが破損するおそれがあります。
- microSD メモリーカードのデータへのアクセス中（LED が点灯中、点滅中）は、絶対に microSD メモリーカードを抜かないでください。microSD メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- 撮影ができなくなるため、カメラの前には撮影を遮るものを設置しないでください。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず43ページの「よくある質問」を参照して解決方法がないかお調べください。

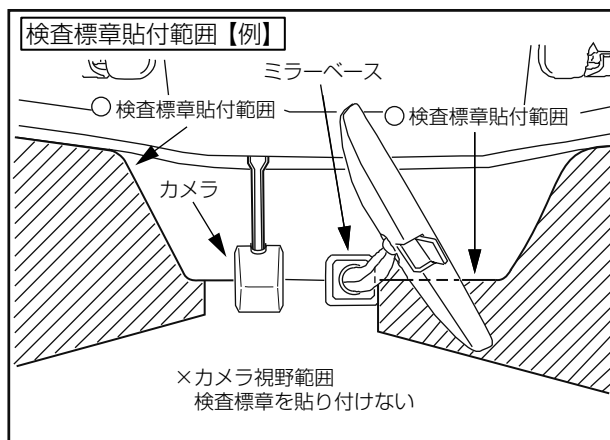
解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店にてご確認ください。

検査標章貼り付け時の注意事項

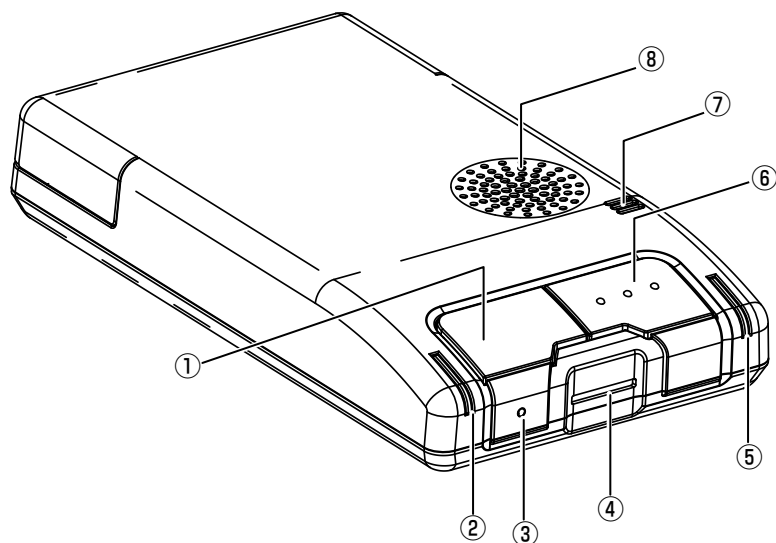
検査標章をドライブレコーダーのカメラ視野範囲内に貼り付けると、カメラ映像内に検査標章が映り込み、必要な情報が映らない恐れがあります。

検査標章を貼り付ける際は、カメラ視野範囲外およびミラーベース右側や検査標章貼付範囲（傾斜部）に貼り付けを行ってください。

※運転の妨げとなる位置への貼り付けは行わないでください。



各部の名称とはたらき



① SOUND ボタン

録画時の音声録音をオン/オフします。

② ERROR LED

本機の動作に異常がある場合に点灯（アンバー）または点滅（アンバー）します。

③ 音声記録 LED（音声録音状態通知インジケータ）

音声録音時に点灯（緑色）します。

④ microSD メモリーカード挿入口

録画したデータを保存するための microSD メモリーカードを挿入します。

（以降、microSD メモリーカードはメモリーカードと記載します。）

⑤ REC LED（録画状態通知インジケータ）

録画中に点滅（緑）します。録音音声が入に設定されているときは点灯（緑）します。

⑥ PHOTO ボタン

静止画を記録します。

⑦ マイク

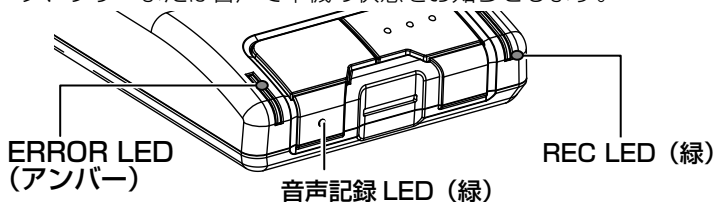
録画中の音声を収録します。マイクは本体に内蔵されています。

⑧ スピーカー

音声ガイドやブザーを出力します。

インジケータ (LED) / ブザー / 音声 による通知

インジケータ、ブザーまたは音声で本機の状態をお知らせします。



■ 通常通知 / 駐車時録画

状態	REC LED	音声記録 LED
電源オン時	早い点滅	消灯
電源オフ時	消灯	消灯
映像 / 音声記録中	点灯	点灯
映像のみ記録中	遅い点滅	消灯

■ ブザー

動作	ブザー
電源オン時	ピッ
衝撃検知時	ピピッ
ボタンの操作音	ピッ

■ 異常通知

通知内容	ブザー	ERROR LED	REC LED	音声
メモリーカード 寿命警告	ピー 3回	点灯	点灯： 映像 / 音声記録中 遅い点滅： 映像のみ記録中	SDカードの交換推奨 時期です。
本体異常 (映像記録は正常)				本体異常です。
本体初期設定未実施 / 本体初期化後の設置 位置変更時				本体初期設定が未実施 です。
メモリーカード 異常時				SDカードを読み込み できません。
メモリーカード 未挿入時				SDカードが挿入されて いません。
本体異常 (異常温度上昇検出)	—	—	—	本体異常により録画が できません。
駐車時録画モードに 切り替わらない	—	—	—	バッテリー保護のため、 駐車時録画をキャンセル します。 メモリーカードが 抜かれたとき 駐車時録画をキャンセル します。
駐車時録画中断	—	—	—	バッテリー電圧が低下し た後の電源オン時 バッテリー保護のため、 駐車時録画をキャンセル しました。

■ 異常通知メッセージ対処方法

音声エラーメッセージ	対処方法
SD カードの交換推奨時期です。	メモリーカードの寿命が近づいています。お買い上げの販売店にご相談ください。
本体異常です。	本体の異常が発生しました。お買い上げの販売店にご相談ください。
本体初期設定が未実施です。	本体初期設定を実施する必要があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
SD カードを読み込みできません。	メモリーカードをフォーマットしてください。
SD カードが挿入されていません。	メモリーカードを挿入してください。
本体異常により録画ができません。	本機の温度が上がって保護機能が働いています。車内の温度を下げてください。
バッテリー保護のため、駐車時録画をキャンセルします。	バッテリー電圧が下がっているため駐車時録画を開始できません。車両のバッテリーをメンテナンスしてください。
駐車時録画をキャンセルします。	駐車時録画機能が有効なときに、メモリーカードを挿入せずに電源をオフしたり、駐車時録画中にメモリーカードを抜いたりすると、駐車時録画モードがキャンセルされます。駐車時録画機能を再開するには、メモリーカードを挿入して電源を入れ直した後、再度、電源をオフしてください。
バッテリー保護のため、駐車時録画をキャンセルしました。	駐車時録画機能使用中にバッテリー電圧が低下したため、録画を中断しました。車両のバッテリーをメンテナンスしてください。

■ 異常通知再通知

本機の電源をオンにしてから検知した「録画ができない異常」に対して、音声通知します。

以下表の音声エラーメッセージについては、SOUND ボタン（※1）を押す、または車速判定（※2）により再度音声通知を実施します。

通知内容	音声エラーメッセージ
メモリーカード異常時	SDカードを読み込みできません。
メモリーカード未挿入時	SDカードが挿入されていません。
本体異常 (異常温度上昇検出、 カメラ接続異常)	本体異常により録画ができません。

※1 SOUND ボタン：電源オン中、ボタンを押すごとに音声を通知します。ただし、他の音声と発話のタイミングが重複する場合は、通知タイミングがずれる場合があります。

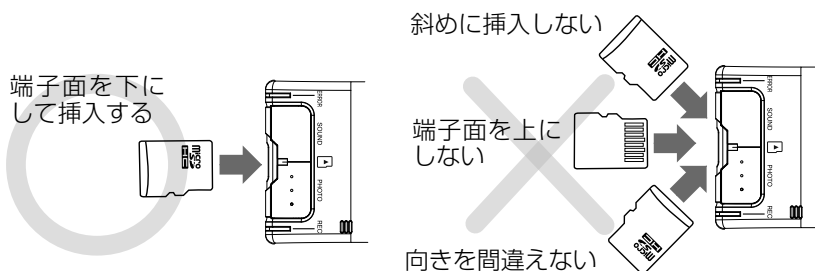
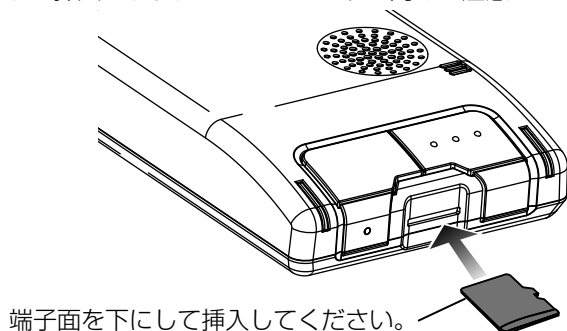
※2 車速：5km/h 以上と判定した時点、もしくは電源オン後 GPS 信号の未取得状態が 20 分間継続した場合、再度音声を通知します。通知後、音声再通知は実施しません。

本機 の 操 作

本機は走行中の映像、音声、GPS からの位置情報などを、メモリーカードに記録します。ここでは、本機の使い方を説明します。

メモリーカードを入れる / 取り出す

本機の電源をオフにしてから、付属のメモリーカードを挿入口に端子面を下にしてカチッと音がするまで挿入します。メモリーカードの向きに注意してください。



注意：

取り出すときは、本機の電源をオフにしてからメモリーカードを押して、メモリーカードが少し飛び出たら引き抜きます。

お知らせ

- メモリーカードを取り出すときは、本機の電源がオフ（LED が消灯）していることを確認してください。
- メモリーカードには本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- メモリーカードを入れるときは、必ず端子面を下にして挿入してください。
- メモリーカードへアクセス中（REC LED が点灯または点滅）はメモリーカードを取り出さないでください。
- 駐車時録画機能を設定しているときは駐車時録画機能をオフにしてからメモリーカードを取り出してください。
駐車時録画機能をオフにするには 18 ページまたは 39 ページをご覧ください。

電源をオン / オフする

電源をオンにする

車両の ACC をオン、またはエンジンをかけると本機の電源がオンになります。電源がオンになると、REC LED（録画状態通知インジケータ）が点滅後、点灯します。その後、常時録画（連続録画）が始まります。

お知らせ

- 駐車時録画機能を有効にしていると、駐車中の衝撃検知モードにより録画されたときは、「録画記録があります」と発話されます。

電源をオフにする

車両の ACC をオフにすると本機の電源がオフになります。駐車時録画機能を有効にしているときは、駐車時録画機能を開始します。

お知らせ

- メモリーカードのデータへのアクセス中（REC LED が点灯中・点滅中）は、絶対にメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードが破損するだけでなく、本機が故障するおそれがあります。
- メモリーカードを抜く場合、本機の電源が切れていること（LED が消灯）を確認し、メモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離してください。メモリーカードが少し飛び出しますので、メモリーカードを取り出してください。
- 駐車時録画機能を設定しているときは駐車時録画機能をオフにしてからメモリーカードを取り出してください。駐車時録画機能をオフにするには 18 ページまたは 39 ページをご覧ください。
- メモリーカードを挿入しないと、本機は動作しません。メモリーカードを取り出したときは、入れ忘れにご注意ください。

本機のバックアップ電源について

本機は、事故の衝撃で電源が遮断される場合を想定し、バックアップ電源を内蔵しています。バックアップ電源は充電式のため、電源オン直後や低温下では、バックアップ時間が短くなる場合があります。バックアップ電源により、電源遮断前の映像を記録しますが、必ず記録することを保証するものではありません。

本機で録画した動画または静止画を見るには

本機で録画した動画または静止画は、パソコン用の専用ビューアソフト「DRD-H66 Viewer」で見ることができます。

DRD-H66 Viewer は付属のメモリーカードに収録されています。インストールの方法やビューアソフトの操作については 20 ページをご覧ください。

録画する

本機には電源オン時に常時録画モード、衝撃検知モード、静止画記録の3つのモードがあります。

電源オフ時には駐車時録画機能があり、常時駐車録画モードと衝撃検知モードの2つのモードがあります。

- ・保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。

電源オン時の録画と記録

本機の電源がオンになると常時録画（連続録画）を開始します。

常時録画（連続録画）モード

本機の電源がオンになると、常時録画（連続録画）を開始します。

録画中は REC LED が緑に点灯します。

- 音声記録を「なし」に設定しているときは点滅します。
設定については 18 ページまたは 40 ページをご覧ください。

常時録画の録画時間は、動画画質の設定によります。

標準画質（1280 x 720）で最大約 150 分

高画質（1920 x 1080）で最大約 80 分

お買い上げ時は標準画質（1280 x 720）に設定されています。

- 動画ファイルは 1 ファイル約 3 分で時間分保存されます。

経過時間 →



- 動画画質の設定を変更したいときは 40 ページをご覧ください。

お知らせ

- メモリーカードの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消して録画を続けます。

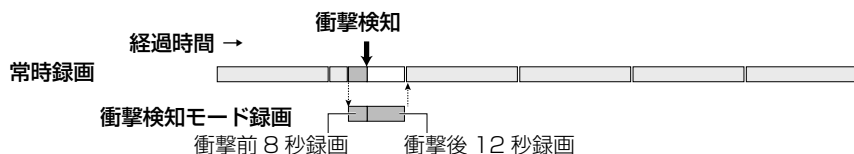
■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「NORMAL」フォルダに保存されます。（→ P.19）

衝撃検知モード

常時録画中に突発的な衝撃などを検知すると、常時録画を中断して衝撃検知モードを開始します。

衝撃検知モードの録画時間は、衝撃検知前の8秒、衝撃検知後の12秒で1イベント20秒となります。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。



お知らせ

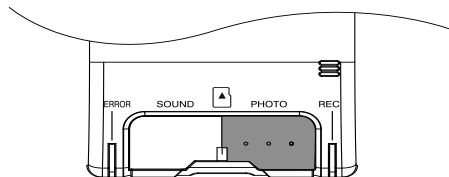
- 衝撃検知モードは10ファイルまで保存されます。10ファイルを超えると古いファイルから順に消して録画を続けます。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「EVENT」フォルダに保存されます。(→ P.19)

静止画記録

本機の「PHOTO」ボタンを押すと、静止画が記録されます。



- 静止画は最大1000枚まで保存されます。
- 保存される画像サイズは動画画質の設定によります。お買い上げ時は標準画質(1280 x 720)に設定されています。動画画質の設定を変更したいときは40ページをご覧ください。

お知らせ

- 1000枚を超えると古い日時のファイルから順に消します。

■ 静止画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「PICTURE」フォルダに保存されます。(→ P.19)

電源オフ時の録画モード

ACC がオフになると本機の電源がオフになり駐車時録画機能を開始します。

駐車時録画機能では、「常時駐車録画モード」、「衝撃検知モード」のどちらか一方、または両方のモードで、録画することができます。

お買い上げ時は駐車時録画機能が「切」に設定されています。

設定は本機またはパソコン用の専用ビューアソフト DRD-H66 Viewer で変更することができます。

本機で変更する場合は 18 ページ、ビューアソフトで変更する場合は 39 ページをご覧ください。

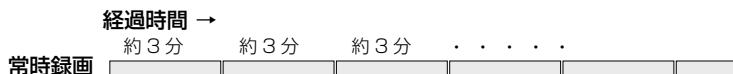
お知らせ

- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には駐車時録画は機能しません。

常時駐車録画モード

常時駐車録画モードは電源オフでも毎秒 1 コマで常時録画（連続録画）します。

- 常時駐車録画モードの録画時間は、「30 分」または「1 時間」を選択できます。お買い上げ時は 30 分に設定されています。
- 動画ファイルは 1 ファイル約 3 分で時間分保存されます。常時駐車録画モードの録画時間を変更したいときは 39 ページをご覧ください。



お知らせ

- 録画時間が 2 時間を超えると、日時の古いファイルから順に消して録画を続けます。
- 駐車時録画機能がオフの場合、通常の常時録画（連続録画）で上書きされます。

録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「PARKING_NORMAL」フォルダに保存されます。(→ P.19)

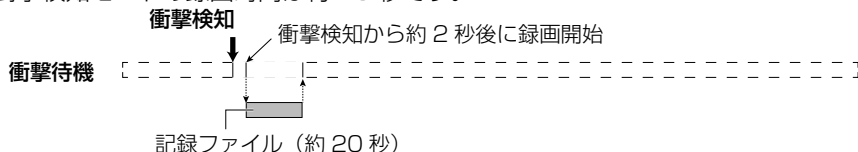
衝撃検知モード

衝撃検知モードは車両に衝撃を受けると、本機の電源がオンになり

電源オンから約 2 秒後に録画が開始されます。

録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

- 衝撃検知モードの録画時間は約 20 秒です。



お知らせ

- 衝撃検知モードは 10 ファイルまで保存されます。10 ファイルを超えると日時の古いファイルから順に消して録画します。
- 衝撃検知モードで録画された場合は、電源オン時に駐車時録画が行われたことを「録画記録があります」と音声でお知らせします。
- 駐車時録画機能がオフの場合、通常の常時録画（連続録画）で上書きされます。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、衝撃検知モードが動作することがあります。

■ 乗車 / 降車時の衝撃検知記録を削除する

衝撃検知モードは乗車 / 降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、衝撃検知モードが動作し、録画されることがあります。この録画を行わないようにするため、衝撃検知モードを乗車 / 降車時に一定時間無効にすることができます。

- お買い上げ時は乗車 / 降車時ともに無効時間は 30 秒に設定されています。設定を変更したいときは 39 ページをご覧ください。

■ 録画ファイルの保存場所

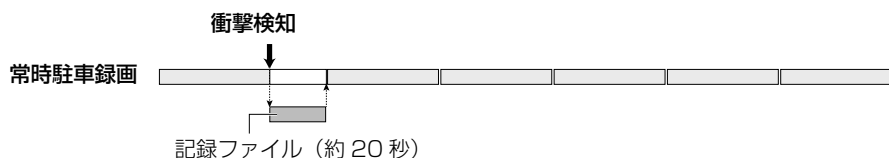
メモリーカード内の「PARKING_EVENT」フォルダに保存されます。(→ P.19)

常時駐車録画モードと衝撃検知モード

常時駐車録画モード中に車両に衝撃を受けると衝撃検知モードが動作し、録画が開始されます。

録画が終了すると常時駐車録画モードに戻ります。

- 衝撃検知モードの録画時間は、衝撃検知から約 20 秒を録画します。



お知らせ

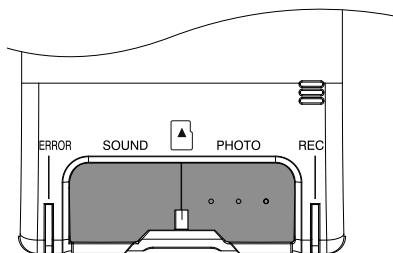
- 衝撃検知モードは 10 ファイルまで保存されます。10 ファイルを超えると日時の古いファイルから順に消して録画します。
- 衝撃検知モードで録画された場合は、電源オン時に駐車時録画が行われたことを音声で「録画記録があります」とお知らせします。
- ドアを閉めたときの振動を検出して、衝撃検知モードが動作することがあります。

■ 録画ファイルの保存場所

メモリーカード内の「PARKING_NORMAL」フォルダと「PARKING_EVENT」フォルダに保存されます。(→ P.19)

駐車時録画機能の設定を本機で切り替える

1 ACC をオン中に [SOUND] ボタンと [PHOTO] ボタンを同時に押す



「駐車時録画モードを変更します。」と音声案内が開始されます。

2 [SOUND] ボタンで設定したい項目を選ぶ

[SOUND] ボタンを押すたびにそれぞれ音声案内されます。

音声	状態
駐車時録画モードを変更します。	駐車時録画機能の設定を変更します。
↓	
常時駐車録画モードに設定しました。	常時駐車録画モードを有効にします。 1 秒間 1 コマの映像を録画します。
↓	
衝撃検知モードに設定しました。	衝撃検知モードを有効にします。 車体への衝撃を検知して録画を開始します。
↓	
常時駐車録画モードと、衝撃検知モードに設定しました。	常時駐車録画モードと衝撃検知モードを有効にします。
↓	
駐車時録画モードをオフにしました。	常時駐車録画モードと衝撃検知モードを無効にします。

3 [PHOTO] ボタンを押す

「モード切替を終了します。」と音声案内され設定を終了します。

お知らせ

- 操作の途中で5秒間操作が無かった場合は設定を終了します。途中まで操作していた場合はその時点の項目が設定されます。

音声録音のオン / オフ切り替え

本機の SOUND ボタンを押すたびに、「ピッ」と音が鳴り、音声記録設定で音声記録のあり / なしが切り替わります。

音声記録が「あり」の場合：

音声記録 LED（緑）が点灯します。

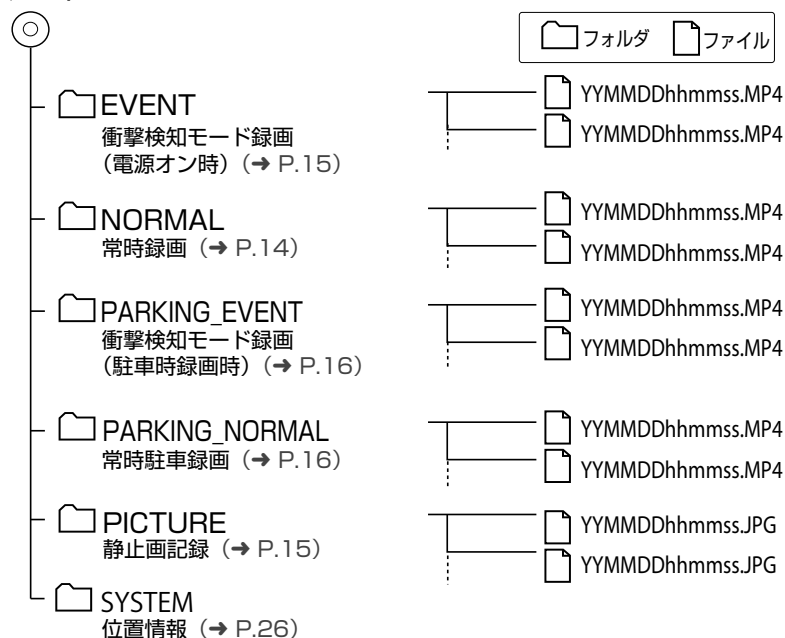
音声記録が「なし」の場合：

音声記録 LED（緑）が消灯します。

フォルダ / ファイル構成

メモリーカードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。ファイル名は年月日と時間が自動的に付けられます。

ルート



ファイル名の表記について

YYMMDDhhmmss.MP4 または .JPG

年 月 日 時 分 秒

お知らせ

- SYSTEM フォルダはファイルの位置情報などが含まれています。SYSTEM フォルダのみを削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

ビューアーソフトを使う

DRD-H66 Viewer は、本機で記録した映像と音声を再生するためのパソコン用の専用ビューアーソフトです。また、本機の設定やデータのバックアップなどを行います。

DRD-H66 Viewer をダウンロードする

DRD-H66 Viewer のインストーラーは専用サイトからダウンロードすることができます。

DRD-H66 Viewer の動作環境

OS	Windows 8.1/8.1Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) ※ Windows 10 Mobile は除く Windows11 (64bit)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

- Microsoft、Microsoft Edge および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Google マップ、Google Earth は、Google LLC の商標です。
- Intel Core は、Intel Corp. の登録商標または商標です。

ダウンロードする

- 1 Microsoft Edge などのウェブブラウザを起動し、専用サイト <https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/driverecorder/toyota/my16/> にアクセスします。
- 2 DRD-H66 Viewer のインストーラーをダウンロードする
使用許諾契約をよく読み、「同意します」にチェックを入れてから、「DOWNLOAD」を選択します。
- 3 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックする
- 4 セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールをする



5 「完了」をクリックする



インストールが完了します。

DRD-H66 Viewer を使う

ビューアソフトを起動する

- 1 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「DRD-H66_VIEWER」 - 「DRD-H66 Viewer」をクリックして起動する。

画面の操作



①メニュー

ビューアソフトを操作するためのメニューです。

ファイル

開く	SD カードを選択する	メモリーカードのデータを直接読み込みます。
	バックアップフォルダーを選択する	バックアップフォルダーから読み込みます。
	ファイルを選択する	ファイルを読み込みます。
終了	DRD-H66 Viewer を終了します。	

設定

本体設定	メモリーカードに設定ファイルを書き込みます。
バックアップフォルダー設定	バックアップする保存先を選択します。

バックアップ

バックアップ		データをバックアップするウィンドウを開きます。
クリーンアップ	SD カードを選択する	メモリーカード内の動画、静止画を削除します。
	バックアップフォルダーを選択する	バックアップフォルダーの動画、静止画を削除します。

ヘルプ

ダウンロードページ	ビューアソフトをホームページからダウンロードする場合に使用します。
バージョン	ビューアソフトのバージョン確認に使用します。

②メニューアイコン

DRD-H66 Viewer を操作するためのメニューアイコンです。

ファイル

SD カードを読み込む	メモリーカードのデータを直接読み込みます。
バックアップフォルダーを読み込む	バックアップフォルダーから読み込みます。
ファイルを読み込む	ファイルを読み込みます。

本体設定

メモリーカードに設定ファイルを書き込みます。(→ P.36)

動画切り出し

再生している動画の切り出し開始と終了時点を設定し、切り出して保存します。(→ P.28)

静止画切り出し (キャプチャー)

再生中の動画から静止画として保存します。(→ P.29)

拡大表示

再生している映像を別ウィンドウで開き、5 倍まで拡大表示 (ズーム) できます。

バックアップ

データをバックアップします。(→ P.31)

KMZ/KML ファイルを出力

Google Earth で利用可能な位置情報データを出力します。(→ P.30)

全画面表示

再生している映像を全画面表示します。

映像を読み込んでいないときと再生を停止しているときは動作しません。

全画面表示中にクリックすると通常表示に戻ります。

③映像再生画面

映像を再生または表示する画面です。

④トラックバー / 再生日時



動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの現在位置を更新します。

2016/01/01 05:49:07

再生ファイルの記録情報（年月日、時間）を表示します。

⑤再生操作ボタン

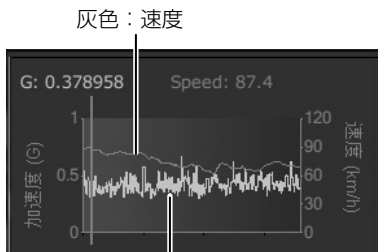
ボタン	説明
	前 / 次のファイルを表示します。
	前 / 次のコマを表示します。
	前のトリップを表示します。
	再生を停止します。
	再生します。
	一時停止します。
	次のトリップを表示します。
	クリックするたびに x1 · x2 · x4 · x8 · x1/2 と再生速度が切り替わります。
	音量を調整 (0 ~ 100) します。

お知らせ

- トリップとは ACC オンから ACC オフ（ACC オフ後の、駐車時録画機能を含む）までに録画されたデータのことです。

⑥グラフ

現在再生している動画ファイルの加速度の大きさと速度を折れ線グラフで表示します。



灰色：速度


水色：加速度（G 値）


お知らせ

- 左縦軸：加速度 / 右縦軸：速度 / 横軸：時間

⑦ GPS 受信状態表示

データの GPS の受信状態を表示します。

受信できていないとき :  GPS (灰色表示)

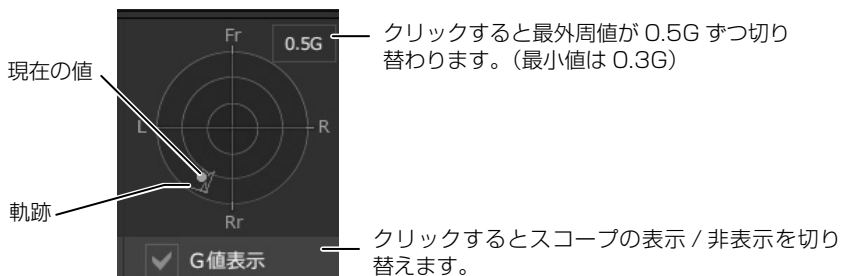
受信できているとき :  GPS (水色表示)

お知らせ

- 起動直後やトンネル、ビル街などの受信環境が悪い場合、GPS 衛星の位置によっては、GPS の信号を正しく取得できずに、地図上での自車位置ずれや速度が正しく表示されないことがあります。

⑧ G 値表示

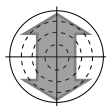
現在再生している動画ファイルの G 値（衝撃）の大きさと方向を表示します。



お知らせ

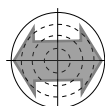
- G 値の大きさは、値が大きいくほど中心から離れます。運転の状況による G 値の方向は以下ようになります。

減速時



加速時

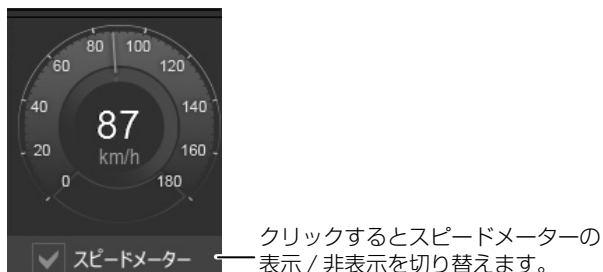
右折時



左折時

⑨スピードメーター

現在再生している動画ファイルの速度を表示します。



⑩地図表示

選択した動画ファイルの位置情報が地図（Google マップ）上にアイコンで表示されます。



- ① 市街地図を表示する場合にクリックします。その際、チェックボックスが表示されます。「地形」の"レ"点の有無により、地形状態表示の有無を切り替えます。
- ② 航空写真を表示する場合にクリックします。その際、チェックボックスが表示されます。「ラベル」の"レ"点の有無により、地図上の情報表示の有無を切り替えます。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。 **MAP ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図を拡大 / 縮小します。
- ⑦ 選択中のファイルの自車位置を表示します。
- ⑧ 衝撃検知モード（電源オン時）の録画地点
- ⑨ 駐車時録画機能の衝撃検知モードの録画地点
- ⑩ 各ファイルの先頭位置

お知らせ

- 各動画ファイル、衝撃検知モード（電源オン時）、駐車時録画機能の衝撃検知モード録画地点のアイコン上にマウスカーソルを合わせるとサムネイルが表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。
- メモリーカードの容量によりファイルが自動で消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。

①種類別一覧

表示をクリックすると③映像再生画面に表示され、再生が開始されます。



①トリップ

ACC オンから ACC オフまで (ACC オフ後の、駐車時録画機能も含む) に録画されたデータを 1 つの単位にまとめて記録されたデータの記録日時とサムネイルを一覧表示します。

②ファイル

すべての動画ファイルの記録日時とサムネイルを一覧表示します。

③衝撃検知

電源オン時の衝撃検知モードで記録された動画ファイルの記録日時とサムネイルを一覧表示します。

④駐車録画 (衝撃)

駐車時録画機能 (電源オフ時) の衝撃検知モードで記録された動画ファイルの記録日時とサムネイルを一覧表示します。

⑤駐車録画 (常時)

駐車時録画機能 (電源オフ時) の常時駐車録画モードで記録された動画ファイルの記録日時とサムネイルを一覧表示します。

⑥PHOTO

静止画ファイルの記録日時とサムネイルを一覧表示します。


動画 / 静止画ファイルを切り出す

記録した動画ファイルから、動画または静止画を切り出して保存します。

お知らせ

- 切り出した動画ファイルは、MP4 ファイルが再生できるソフトウェアで再生することができます。静止画ファイルは JPG または PNG ファイルが表示できるパソコンで確認できます。
- パソコンの環境によっては再生または表示できない場合もあります。

動画を切り出す

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 切り出す動画ファイルを選択し、再生する
- 3 「」(動画切り出し) をクリックする



動画切り出しウィンドが表示します。

- 4 切り出す部分の開始点で「設定」をクリックする



- 5 切り出す部分の終了点で「設定」をクリックする



- 6 切り出すデータの走行情報を選択する

ファイルに埋め込む情報は 5 種類(日時、速度、加速度、緯度経度、方角)から選択できます。初期設定はすべてに"レ"点が入り、選択された状態になっています。選択を解除するには"レ"点をクリックすれば解除できます。

選択した情報は、切り出したファイルの再生画面の下部に表示されます。

ただし、情報が無い項目は"-"で表示されます。



7 「出力」をクリックする




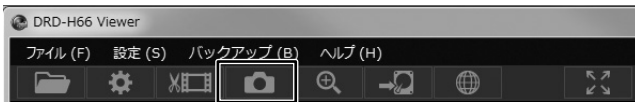
8 保存先と保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする



9 「保存しました」と表示されたら「OK」をクリックする

静止画を切り出す

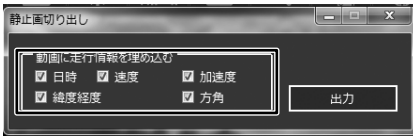
- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 静止画を切り出す動画ファイルを選択し、再生する
- 3 静止画を切り出したい位置で「」（静止画切り出し）をクリックする



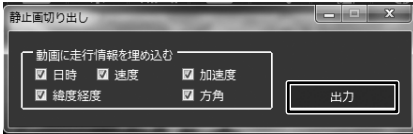
動画が一時停止し、静止画切り出しウィンドが表示します。

4 ファイルに埋め込む情報（日時、速度、加速度、緯度経度、方角）を選択する

ファイルに埋め込む情報は5種類（日時、速度、加速度、緯度経度、方角）から選択できます。初期設定はすべてに"レ"点が入り、選択された状態になっています。選択を解除するには"レ"点をクリックすれば解除できます。選択した情報は、切り出したファイルを表示したときの画面下部に表示されます。ただし、情報が無い項目は"-"で表示されます。



5 「出力」をクリックする




6 保存先と保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする

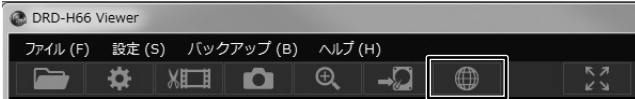


Google Earth で使用するデータを出力して読み込む

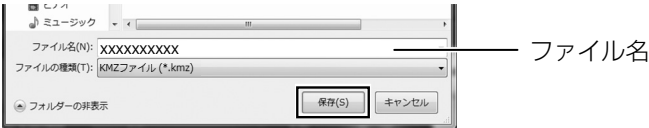
お知らせ

- データを出力する前に、お使いのパソコンに Google Earth をインストールしてください。Google Earth は、Google のサイトからダウンロードできます。

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 出力したい動画ファイルを選択し、再生する
- 3 「」(KMZ/KML ファイルを出力) をクリックする



- 4 保存先と保存するファイル名を入力して、「保存」をクリックする

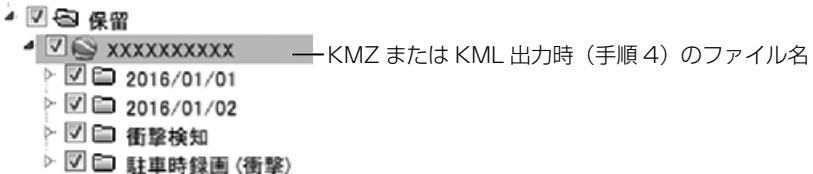


お知らせ

- KMZ は KML ファイルを zip 圧縮したものです。どちらのファイルでも Google Earth に読み込むことができます。

- 5 「出力が完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする
- 6 「Google Earth を起動しますか？」と表示されたら「はい」をクリックする
Google Earth が起動します。
- 7 見たいファイルを選択する

画面左側に保留フォルダーと保存したデータのファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると保存したデータが表示されます。



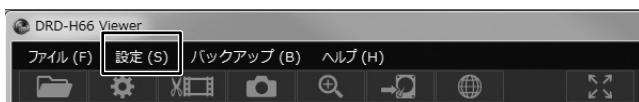
フォルダーの"レ"点を外すと外したデータの表示を地図から消します。「衝撃検知」(電源オン時の衝撃検知モード)または「駐車時録画(衝撃)」(電源オフ時の衝撃検知モード)のフォルダを開き、年月日をクリックすると地図上に録画時の情報(発生日時、イベント名、緯度、経度、その時の速度、方角)が表示されます。

メモリーカードのデータをパソコンにバックアップする

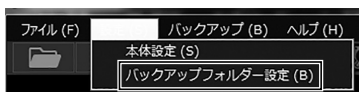
メモリーカードは容量の関係から、保存しておける映像の数が限られています。メモリーカードの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きするため、古い映像を見ることができなくなります。メモリーカード内の必要な映像データはパソコンのハードディスクなどにバックアップしてください。ビューアソフトを使ってメモリーカードの記録データをバックアップすると、位置情報などのシステムファイルと関連付いたまま保存することができます。

バックアップフォルダーを設定する

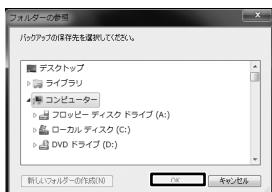
- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「設定」をクリックする



- 3 「バックアップフォルダー設定」をクリックする



- 4 バックアップする保存先を選択して、「OK」をクリックする



お知らせ

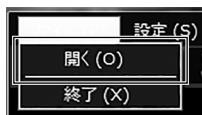
- バックアップの保存先を設定していない場合は、「マイビデオ」または「ビデオ」（ご使用の Windows のバージョンによって異なります）に設定されています。

メモリーカードのデータをバックアップする

- 1 メモリーカードを本機から取り出し、カードリーダーに挿入してパソコンに接続する
- 2 メニューの「ファイル」をクリックする



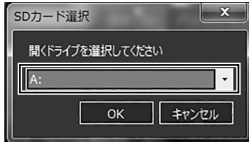
- 3 「開く」をクリックする



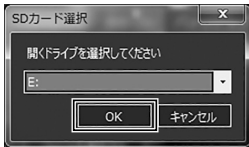
4 「SDカードを選択する」をクリックする



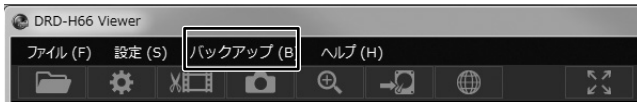
5 メモリーカードを接続しているドライブを指定する



6 「OK」をクリックする



7 メニューの「バックアップ」をクリックする



8 「バックアップ」をクリックする



9 バックアップするデータにチェックを付ける



最初はすべて (トリップ / ファイル) に "レ" 点が入っています。
バックアップしないデータは "レ" 点をクリックして消してください。

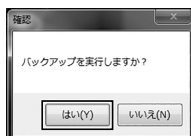
お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての"レ"点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべての"レ"点が付きます。
- バックアップデータのフォルダー名は手順8でバックアップをクリックしたときの日時になります。変更したい場合は「作成するフォルダー」を書き替えることができます。

10 「実行」をクリックする



11 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする



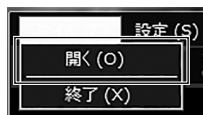
12 「バックアップが完了しました」と表示されたら「OK」をクリックする

バックアップした映像を見る

1 メニューの「ファイル」をクリックする



2 「開く」をクリックする



3 「バックアップフォルダーを選択する」をクリックする



4 見たい映像ファイルのフォルダーを選択する

再生画面が表示され、動画ファイルが再生されます。

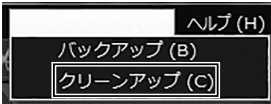
データをクリーンアップ（消去）する

パソコンに保存したバックアップデータまたはメモリーカードに記録されたデータをクリーンアップ（消去）することができます。

- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「バックアップ」をクリックする



- 3 「クリーンアップ」をクリックする



- 4 「SDカードを選択する」または、「バックアップフォルダーを選択する」をクリックする



- 5 クリーンアップするデータを選択する



最初はすべて（トリップ / ファイル）に"レ"点が入っています。
クリーンアップしないデータは"レ"点をクリックして消してください。

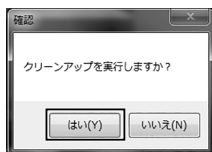
お知らせ

- 「全解除」をクリックするとすべての"レ"点が解除されます。
- 「全選択」をクリックするとすべての"レ"点が付きます。

6 「実行」をクリックする



7 メッセージが表示されたら「はい」をクリックする



8 「クリーンアップが完了しました」表示されたら「OK」をクリックする

本体の設定を変更する

ビューアーソフトで本体の設定を変更することができます。

設定をメモリーカードに保存します。

メモリーカードを本体に挿入し、電源をオンにすると、自動的に本体の設定を変更することができます。

お買い上げ時の本体設定状態

■ センサー感度

項目	設定内容	初期設定
感度設定	標準 / 高感度 / スライダー： 3.50(感度：低) ~ 0.30(感度：高)	標準
横軸補正	0.00(低) ~ 0.50(高)	0.10
進行方向補正	自動学習 / 手動 (-45° ~ 45°)	自動学習

■ 駐車時録画機能の設定

項目	設定内容	初期設定
駐車時録画機能	切 / 常時駐車録画 / 衝撃検知 / 常時駐車録画 + 衝撃検知	切
駐車時録画の開始を通知する	有効 / 無効	有効
常時駐車録画記録時間	30分 / 1時間	30分
衝撃検知設定		
検知感度	標準 / 高感度 / スライダー： 3.50(感度：低) ~ 0.30(感度：高)	標準
開始時間	30秒後 / 1分後 / 3分後	30秒後
終了時間	30秒前 / 1分前 / 3分前	30秒前
衝撃検知を通知する	有効 / 無効	有効

■ 画質・音量の設定

項目	設定内容	初期設定
動画画質	高画質 / 標準画質	標準画質
音声記録	あり / なし	あり
操作ブザー	音量：0 ~ 4	2
音声ガイダンス	音量：0 ~ 4	2

お知らせ

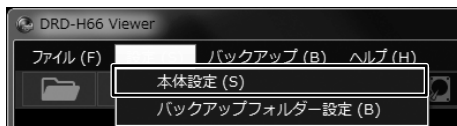
設定の変更については 38 ページ ~ 40 ページをご覧ください。

設定を変更する

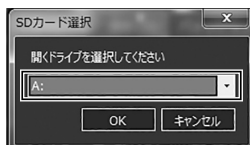
- 1 ビューアソフトを起動する
- 2 メニューの「設定」をクリックする



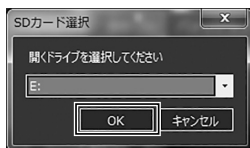
- 3 「本体設定」をクリックする



- 4 メモリーカードを接続しているドライブを指定する



- 5 「OK」をクリックする



「本体設定」画面が表示されます。

お知らせ

- メモリーカードに動作記録がない場合、またははじめてご使用になる場合は、「設定ファイルを読み込めません」とメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてください。
- メモリーカードに以前の設定が保存されている場合は、以前の設定がビューアソフトの設定画面に表示されます。

- 6 各設定を変更する (38 ページ～ 40 ページ)

- 7 「OK」をクリックする

設定をメモリーカードに保存します。

■ センサー感度を設定する

「センサー感度」をクリックする



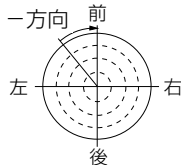
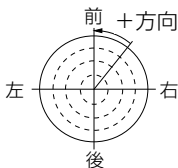
* お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
感度設定	標準*/高感度/ スライダー： 3.50(感度：低)～ 0.30(感度：高)	「標準」、「高感度」にタッチしてセンサー感度を設定します。スライダーを動かして、値を設定することもできます。感度を高くするほど衝撃を検知しやすくなります。
横軸補正	スライダー： 0.00(低)～0.50(高) (お買い上げ時の設定：0.10)	スライダーを動かして、左右方向(横軸)のセンサー感度補正を設定します。値を高くするほど左右方向の衝撃を検知しにくくなります。
進行方向補正	自動学習*/ 手動で補正角度を設定： - 45°～45°	進行方向補正の自動学習の実施をする/しないを設定できます。自動学習しない場合はチェックを外し、▼/▲をクリックして、本体の進行方向に対する補正角度を手動で設定します。

お知らせ

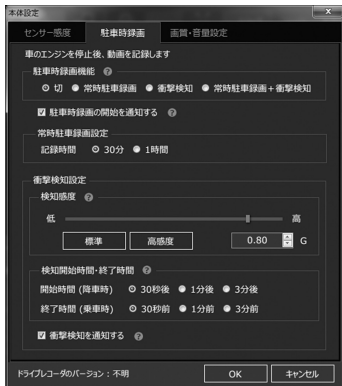
- 走行を続けることでドライブレコーダーが車両の直進方向を学習します。
- 進行方向補正角度について

進行方向のずれは、映像を再生して確認してください。直進中のグラフが進行方向に対して右にずれている場合+方向に補正してください。また、進行方向に対して左にずれている場合-方向に補正してください。



■ 駐車時録画の設定をする

「駐車時録画」をクリックする



* お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
駐車時録画機能	切 * / 常時駐車録画 / 衝撃検知 / 常時駐車録画 + 衝撃検知	駐車時録画の方法を選択します。 (→ P.16)
駐車時録画の開始を通知する	有効 * / 無効	「有効」に設定していると ACC をオフにしたときに「駐車時録画機能を開始します。」と通知します。
常時駐車録画記録時間	30 分 * / 1 時間	常時駐車録画の録画時間を設定します。 (→ P.16)
衝撃検知設定		
検知感度	標準 * / 高感度 / スライダー： 3.50(感度：低) ~ 0.30(感度：高)	「標準」、「高感度」にタッチしてセンサー感度を設定します。スライダーを動かして、値を設定することもできます。感度を高くするほど衝撃を検知しやすくなります。
開始時間 (降車時)	30 秒後 * / 1 分後 / 3 分後	降車 / 乗車時の衝撃検知記録を一定時間無効にする時間を設定します。 (→ P.17)
終了時間 (乗車時)	30 秒前 * / 1 分前 / 3 分前	
衝撃検知を通知する	有効 * / 無効	ACC をオンにしたときに、衝撃を検知していたときは、「録画記録があります」と通知します。

■ 画質・音量の設定をする

「画質・音量設定」をクリックする



* お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
動画画質	高画質 / 標準画質 *	記録する動画の画質を設定します。
音声記録	あり */ なし	動画の音声あり・なしを設定します。
操作ブザー	音量：0～4 (お買い上げ時の設定：2)	操作ブザーの音量を設定します。
音声ガイダンス	音量：0～4 (お買い上げ時の設定：2)	音声ガイダンスの音量を設定します。

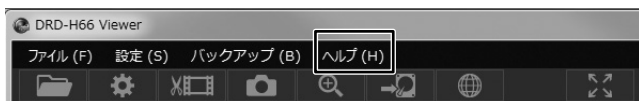
お知らせ

- 音声エラーメッセージは音量を0に設定しても音声出力します。

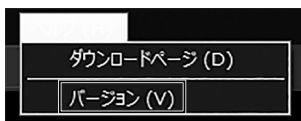
バージョン情報を表示する

ビューアソフトのバージョン情報を表示します。

1 メニューの「ヘルプ」をクリックする



2 「バージョン」をクリックする

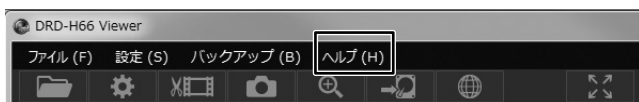


バージョン情報を表示します。

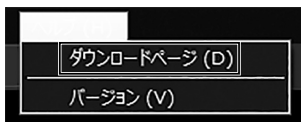
DRD-H66 Viewer と取扱説明書をダウンロードする

最新の DRD-H66 Viewer のインストーラーと取扱説明書がダウンロードできます。

1 メニューの「ヘルプ」をクリックする



2 「ダウンロードページ」をクリックする



ダウンロードサイトが表示されます。

お知らせ

- ダウンロードするには、インターネット接続の環境が必要です。

メモリーカードをフォーマットする

映像を再生したり、ファイルをバックアップしたりする際にエラーが表示される時は、メモリーカードのデータが破損している可能性があります。

以下の手順でメモリーカードをフォーマットしてください。

お知らせ

- 基本的にメモリーカードのフォーマットは必要ありません。メモリーカードで書き込み・読み込みエラーが発生する場合、または本体が起動しない場合のみフォーマットしてください。
- フォーマットすると、ファイルは削除されます。必要な記録データはパソコンへ保存してください。

1 メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する

メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。

- (1) Microsoft Edge などのウェブブラウザを起動し、専用サイト <https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/driverrecorder/toyota/my16/> にアクセスします。
- (2) 「microSD メモリーカードフォーマットソフトウェアはこちら」の DOWNLOAD を選択してください。
- (3) 記述されている手順に従って、メモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。

2 メモリーカードフォーマットソフトウェアを起動する

3 メモリーカードフォーマットソフトウェアでフォーマットする

よくある質問

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ 本体

質問事項	回答
記録した音声小さい。	本機の録音機能は音声を録音する目的ではなく、映像の補助として周囲の音を記録する目的のため、記録音量は低めに設定されています。もし、録音された音が極端に小さいようであれば、本機のマイク周辺が覆われているようなことがないか、ご確認ください。
車両の電源を入れても LED が点灯しない。または電源が入らない。	本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
メモリーカードのデータを自分で消すことはできますか？	可能ですが、ビューアソフトでの再生に支障が出る場合があります。原則として、データは削除しないでください。削除する場合は、「データをクリーンアップ（消去）する」(→ P.34)の手順に従い、対応ください。
カーナビで映像を見ることはできますか？	ナビゲーションシステムでの再生は、メモリーカードの MP4 再生機能があるものに限ります。ご使用のナビゲーションシステムの仕様をご確認ください。またナビゲーションシステムの仕様によっては、再生できない場合もあります。
専用のメモリーカードが壊れた。	メモリーカードのフォーマットを行ってください (→ P.42)。それでも正常に記録できないときは、お買い上げの販売店に相談してください。
ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を残すことはできますか？	ブラインドコーナーモニター、バックガイドモニターの映像を残すことはできません。本機で撮影した映像のみ録画できます。
ブザーの音量が小さくて聞こえないのですが、音量を大きくすることはできますか？	ビューアソフトで音量を変更できます (→ P.40)。
事故の衝撃でバッテリーが外れても記録できますか？	事故の衝撃でバッテリーが外れることを想定し、バックアップ電源を内蔵しています (→ P.13)。
事故で壊れた場合、修理はできますか？	事故などで強い衝撃を受けて故障した場合は、本機内部の精密部品が損傷を受け劣化してしまうことがあります。修理後の品質保証ができませんので、修理をお受けすることはできません。
記録時間を変更できますか？	記録時間は、標準画質 (HD) で 約 150 分、高画質 (FHD) で 約 80 分となり変更はできません。電源オン時に衝撃を検知すると、検知前 8 秒、検知後 12 秒 (固定) のファイルを作成します。駐車時に衝撃を検知すると、検知から 20 秒のファイルを作成します。
記録時間が標準画質で 約 150 分、高画質で 約 80 分より短く記録されています。	常時駐車録画モードの映像が多く記録されていると、常時録画の時間は短くなります。また、メモリーカードにドライブレコーダーとは関係のないファイルが入っていても、記録領域が狭くなるため記録時間が短くなります。
記録したはずの映像がありません。	本機は常時記録型の映像記録装置です。メモリーカードの記録可能時間や記録件数の上限を超えると、古い記録から上書き保存していきます。必要に応じて、メモリーカードのデータをパソコンのハードディスクなどにバックアップしてください。
走行中、頻繁に衝撃検知モードの録画が実施されます。	ビューアソフトでセンサー感度を調整する (→ P.38) ことができます。解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

信号の色が記録されないことがあります。故障ですか？	映像の記録周期と LED 方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。信号が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
エンジンを切っても電源が切れません。	エンジンを切り、ACC がオフになっても電源がオフにならない場合は、駐車時録画機能が動作しています。駐車時録画機能を「切」に設定しても電源がオフにならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
本体が起動しません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
メモリーカードに、映像が記録できません。	次の理由により正常に動作していない可能性がありますのでご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> メモリーカードは正しく挿入されていますか？ メモリーカードに異常はありませんか？異常がある場合は、メモリーカードのフォーマットを行ってください (→ P.42)。 本機に付属または純正のメモリーカードを使用してください。市販のメモリーカードでの動作は保証できません。 本機の温度が高温になっている場合は、車内の温度を下げてください。保護機能が解除され録画ができるようになります。
記録開始までの起動時間が長い。	フォーマット直後のメモリーカードを挿入した場合、フォルダを再構成するため記録開始までの時間が長くなる場合があります。
音声ガイダンスやブザー音をオフにすることはできますか？	ビューアソフトで音声ガイダンスや操作ブザーの音量を 0 に設定することで、オフにできます。本機の動作に異常が発生したり、設定操作など音声が必要な場合は、オフにしても音声やブザーが鳴る事があります。
常時駐車録画モードの再生動画は、映像の動きが滑らかではありません。	常時駐車録画モードの映像は 1 秒間に 1 枚の更新頻度のため、他の録画モードと比較し、動きの滑らかではない映像に見えます。
画質モードの標準画質と高画質の違いはなんですか？	標準画質 (HD) に比べ、高画質 (FHD) はより細かい部分まで撮影できますが、メモリーカードに保存しておける録画時間が減ります。

■ ビューアソフト

質問事項	回答
パソコンを持っていませんが見ることが出来ますか？	ナビゲーションシステムで再生する場合は、メモリーカードの MP4 再生機能があるものに限られます。ご使用のナビゲーションシステムの仕様をご確認ください。ナビゲーションシステムの仕様によっては、再生できない場合もあります。ただし、本体の設定などを変更するためにはパソコンが必要です。
衝撃検知モードで録画された動画を再生した場合に、再生時間が 20 秒未満のものがありますが、これは故障ですか？	電源をオンにした後すぐに衝撃を検知した場合や、衝撃検知した後すぐに電源をオフした場合には、20 秒未満の映像になります。
記録できた映像は、事故の証拠として認められるのですか？	本機は事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、証拠としての効力を保証するものではありません。
パソコンの OS が Windows 98、ME、Windows 2000、XP、Vista、Windows 7 ですが映像は見ることは出来ますか？	対応 OS は Windows 8.1/8.1Pro、Windows 10、Windows 11 です。それ以外の OS では、ビューアソフトは起動しても再生が正しく行われないことがあります。
古いパソコンを使っていますが、新しいパソコンは必要ですか？	Windows 8.1/8.1Pro、Windows 10 Windows 11 の OS が快適に動作するパソコンであれば、新しいパソコンは必ずしも必要ではありません。

記録した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見えることはできますか？	再生ソフトによっては再生できない場合があります。また、速度や位置などの情報は確認できません。
ビューアソフトを消してしまった。	ビューアソフトのインストーラーは専用サイトからダウンロードしてください。(→ P.20)
パソコンにメモリーカードを挿入しても認識しません。	メモリーカードが正しく挿入されていない可能性があります。再度メモリーカードを挿入しなおしてください。また、カードリーダーを使用している場合、カードリーダー自体が正しくパソコンで認識できていない可能性もあります。カードリーダーに付属の説明書を確認してください。
ビューアソフトが起動しない。	お使いのパソコンのOSはWindows 8.1/8.1Pro、Windows 10、Windows 11ですか？ビューアソフトは、Windows 8.1/8.1Proより古いOSや、MacやLinuxなど他のOSでは起動しません。もし、OSが正しいにも関わらず起動しない場合は、ビューアソフトのファイルが壊れている可能性がありますので、再インストールしてください。(→ P.20)
再生ボタンを押しても映像の再生が始まらない。	再度ファイルを開いて再生を行ってください。それでも再生されない場合は、映像ファイルが壊れている可能性があります。ファイルが壊れた場合、再生はできませんので再生できないファイルごとのクリーンアップ(消去)を行ってください。クリーンアップについては34ページをご覧ください。ファイルを消去できない場合は、メモリーカードの必要なファイルをパソコンにバックアップ(→ P.31)した後に、メモリーカードのフォーマットを行ってください。(→ P.42)
再生ボタンを押しても映像は再生されるが、音が出ない。	音声記録「なし」の設定、あるいは、本機のボタンで「なし」設定になっている可能性があります。また、ビューアソフトの音量設定が最小になっていませんか？設定をご確認ください。(→ P.24) またはパソコン側の音量設定が最小になっていないか、ご確認ください。また設定を変更しても音が出ない場合、本体内蔵のマイク(集音部)が覆われていないかご確認ください。
本体設定画面を開くと「設定ファイルを読み込みません」との警告が表示される。	本体設定を開くときは、以前の設定をメモリーカードから読み込みます。ご購入直後やメモリーカードをフォーマットした後は「設定ファイルを読み込みません。」の警告が表示されますが問題ありません。
本体設定画面でセンサー感度を変更して書き込みをしましたが、値が変更されない。	設定変更をした後、メモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は本体へ反映されます。
本体設定画面で音量を変更して書き込みをしましたが、値が変更されない。	設定変更をした後、メモリーカードを車載機本体に挿入して起動させることで、設定内容は本体へ反映されます。
再生時に映像が乱れたり音声が途切れたりする。	ご使用中のパソコンの動作環境が推奨する動作環境を満たしているかご確認ください(→ P.20)。パソコンのスペックが低かったり、他のアプリケーションが起動していると再生や音声が途切れることがあります。
地図の自転車位置が実際とずれている。	ビル街など走行する場所や、GPS衛星の状態によっては、GPSの情報が正常に受信できず、位置がずれることがあります。
速度が実際とずれている。	速度はGPS情報から取得しており、ビル街など走行する場所や、GPS衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。
画質モードの標準画質と高画質の違いはなんですか？	標準画質(HD)に比べ、高画質(FHD)はより細かい部分まで撮影できますが、録画できる時間が短くなります。

仕様

■ 本体

動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
電源電圧	10 V ~ 32 V
消費電流	0.5A 以下 / 12V 0.25A 以下 / 24V
外形寸法 (幅) x (高さ) x (奥行)	63mm x 111mm x 21mm (突起部を除く)
質量	約 105 g
動画記録時間	約 150 分 (標準画質) / 80 分 (高画質)
動画フレーム数	・電源オン時: 常時録画 / 衝撃検知 27fps ・電源オフ時: 常時録画 1fps / 衝撃検知 27fps
時計	GPS にて補正

■ カメラ

動作温度範囲	- 20 ~ + 65℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
保存温度範囲	- 30 ~ + 85℃ ※湿度 20 ~ 90% RH、結露なきこと
外形寸法 (幅) x (高さ) x (奥行)	26mm x 25.5mm x 46mm (カメラ部のみ)
撮影素子	1/2.8 型カラー CMOS
有効画素数	約 200 万画素
画角	水平 112° x 垂直 65°

これらの仕様およびデザインは、お客様に予告なく変更になる場合があります。

免責事項について

- ・お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェアについて

MD5 utility

/* crypto/md5/md5.h */

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

CRC utility

COPYRIGHT (C) 1986 Gary S. Brown. You may use this program, or code or tables extracted from it, as desired without restriction.

First, the polynomial itself and its table of feedback terms. The polynomial is $X^{32}+X^{26}+X^{23}+X^{22}+X^{16}+X^{12}+X^{11}+X^{10}+X^8+X^7+X^5+X^4+X^2+X^1+X^0$

Note that we take it "backwards" and put the highest-order term in the lowest-order bit. The X^{32} term is "implied"; the LSB is the X^31 term, etc. The X^0 term (usually shown as "+1") results in the MSB being 1

Note that the usual hardware shift register implementation, which is what we're using (we're merely optimizing it by doing eight-bit chunks at a time) shifts bits into the lowest-order term. In our implementation, that means shifting towards the right. Why do we do it this way? Because the calculated CRC must be transmitted in order from highest-order term to lowest-order term. UARTs transmit characters in order from LSB to MSB. By storing the CRC this way we hand it to the UART in the order low-byte to high-byte; the UART sends each low-bit to high-bit; and the result is transmission bit by bit from highest- to lowest-order term without requiring any bit shuffling on our part. Reception works similarly

The feedback terms table consists of 256, 32-bit entries. Notes

The table can be generated at runtime if desired; code to do so is shown later. It might not be obvious, but the feedback terms simply represent the results of eight shift/xor operations for all combinations of data and CRC register values

The values must be right-shifted by eight bits by the 'updcrc logic; the shift must be unsigned (bring in zeroes). On some hardware you could probably optimize the shift in assembler by using byte-swap instructions polynomial \$edb88320 CRC32 code derived from work by Gary S. Brown.

GPSD

BSD LICENSE

The GPSD code is Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002 by Remco Treffkorn. Portions of it are also Copyright (c) 2005 by Eric S. Raymond. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:<P>

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.<P>

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.<P>

Neither name of the GPSD project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オープンソースソフトウェアについて

ビューアソフトには、ソースコードの配布を要求しているオープンソースソフトウェアライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアが含まれています。これらのソフトウェアのソースコードは、以下の専用サイトからダウンロードいただけます。

<https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/driverrecorder/toyota/my16/>

About Open Source Software included in the viewer software

This viewer software includes software licensed under open source software license requiring the distribution of source code.

The source code of these software can be downloaded from the website below, <https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/driverrecorder/toyota/my16/>

保証について

保証の内容

- ・トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取り付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。
(以下、この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取りはずした不具合部品はトヨタの所有となります。

保証の期間、受け方

(1) 保証期間

保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取り付けした日をご使用開始日として起算し3年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000 kmまでとします。

(2) 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取り付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

保証しない事項

(1) 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。

- ①トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取り付け、修理及びトヨタが認めていない改造等。
- ②取付場所の変更、車両付替えを行った本体、カメラ、各ハーネス、及び同梱品。
- ③取扱書に示す取扱い方法と異なる使用及び不適切な保管等および地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- ①消耗部品及び油脂類等。(ヒューズ、各種電球等。)
- ②商品を使用できなかったことによる不便さ及び損失等。

保証の適用

- ・日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

その他

- ・保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

ドライブレコーダー 取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け車台番号	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 (修理メモ・保証継承情報等)	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社
株式会社デンソー

261790-0410
B5A-1313-10 b